

富田林市立幼稚園・保育所のあり方基本方針【認定こども園化計画】(素案) に係る市民向け説明会について

1. 市民向け説明会 開催日程・参加者

日 程	時 間	場 所	参加者
8月 6日 (水)	19時～	金剛連絡所2階ホール	4人
8月11日 (月祝)	10時～	富田林市役所3階庁議室	27人

2. 市民向け説明会 主なご意見・ご質問

(認定こども園化計画(素案)の項目別に整理しています)

2. 関連する方針

- ・令和5年策定の幼稚園・保育所のあり方基本方針で、市立保育所を『4園に集約』と記載があるが、6園を認定こども園に移行した場合、いつ頃どのように4園に集約するのか。

4. 幼稚園・保育所の現状

- ・図表8、最近、私立の認定こども園が毎年のように設立されている。開園した年度と定員数を教えてほしい。
- ・出生数が減少しているなか認定こども園を認可しているのか。

5. 市立認定こども園の基本的な考え方

- ・2号認定児で利用を希望された場合、現在の市立保育園から定員が減少することで希望する園に入れなくなることが起こり得るのではないかと。「市立が良い」と希望する方が入園できない可能性が高くなるのでは。
- ・3～5歳児クラスの定員について、1・2号で10人ずつ計20人と設定するのか。
- ・図表9、認定こども園に移行した際、1号認定児は14時頃におやつを食べずに帰るのか。午睡は。2号認定児が寝ている間、1号認定児は遊んでいるのか。生活リズムが違うがどうするのか。
- ・早く帰る子とそうでない子で、こども同士でチームが生まれるのでは。民間ではうまくできているのか。
- ・令和10年度に向けて既存の市立保育所の定員を減らしていくのか。今通っているこどもはどうなるのか。
- ・伏山地域で住宅開発が進み地域的にこどもは多くなる見込みがある。金剛保育園の半減が気になる。
- ・図表9の一日の流れについて、生活の流れの違うこどもが同じ部屋に混在するイメージがわからない。教育の流れをもっと説明していただきたい。

6. 幼児教育・保育内容の充実等

- ・認定こども園に通園バスを運行する予定だが、幼稚園に送迎バスを活用することはないか？
- ・現場のことを考えると不安がたくさん。職員間の連携が大事だと感じる。
- ・(9)「職員の勤務体制等について」、職員の気持ちを聞き取りながら時間をかけて作り上げてほしい。質の良い教育よりも安心できる教育・保育であってほしい。
- ・(1) 1クラス概ね20人について、その根拠を教えてください。
- ・P9「幼児教育・保育の充実」の(3)(4)(5)は歓迎できる内容である。現在の取組状況はわからないが、今後もしっかり取組んでいただきたい。

その他

- ・幼稚園の保育料について以前は数千円だった。認定こども園になるとどうなるのか。
- ・保育園探しは保護者にとって大きな負担。本当に入りたい園に、より入りにくくなるのでは。忙しい中、自分で園を探さないといけないので大変。そのような中、定員削減となると、より一層迷われる方が多くなるのでは。
- ・きょうだいで別々の園になっている方はいるのか。
- ・こどもたちのためにもう少し良い方法はないのか。例えば、給食や交流を行ってきたが増えなかった。認定こども園になる前に、他にできるような案はないのか。
- ・この計画は短期的な計画か。今後もこの体制を続けるのか。
- ・発達に課題のあるこどもは何名おられるのか。市立保育園ではどのような見通しで対応しているのか。発達相談員は正規雇用か。
- ・こどもの友達のことを考え近隣の市立保育園を検討しているが駐車場がないと聞いている。
- ・こどもの出生数を見ると本市は大丈夫かと不安に思う。富田林市は子育てに良いところだと聞いて移住してきた。これからも頑張ってもらいたい。
- ・前回の個別施設再配置計画の説明会では合計で200人近くの参加者がいたが、今回の説明会は参加者が少ない。大きな案件なのに広く市民に周知できていないのでは。もっと多くの市民に周知して、理解していただく必要がある。
- ・こどもの最善の利益を考え、もっと時間をかけて検討してほしい。各現場で働く職員の合意を。この案を考え直してほしい。
- ・認定こども園が理解できない。市立幼稚園、保育所それぞれで残してほしい。
- ・個別施設再配置計画の際に出た意見を、どのように検証して本案に至っているのか。

3. 市民向け説明会における、詳細なご意見・ご質問と回答

別紙のとおり